

事業報告

2021年度の健（検）診事業は、未だ終息をみない新型コロナウイルス感染症の感染拡大による健診の中止、延期が前年同様に発生し大きな影響を受けた。

日々の健（検）診においては、新型コロナウイルス感染症の感染防止策として、関係団体から発出されるガイドライン等に呼応して「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」を更新し、健診現場では消毒の徹底やマスクの着用、健康観察の実施等を行い、事業団一丸となって感染予防に努めた。

しかし、定期健診では、県独自の感染警戒レベルの高止まりによる健診の延期、中止があり前年と比較し更に減少することとなった。2020年度に減少率が10%前後だった定期健診、学校心臓検診、骨健診、乳がん検診は前年度比100%前後に、また、減少率が10%を超えていた特定健診、肺がん検診（エックス線・CT検査）、胃がん検診、大腸がん検診、及び子宮がん検診などは、概ね10%～20%改善した。しかし、コロナ禍前の2019年度と比較すると、100%に届いたのはマンモグラフィ検査のみで、他の検診は概ね5～10%減少している。

施設健診事業は、一部に新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるキャンセルなどの影響はあったものの、長野・伊那健康センターともに、前年より受診者が増加した。

データ処理事業では、新型コロナウイルス感染症の感染リスク抑制の観点から、市町村での実施期間延長等があり一部では増加したものの、全体では前年より処理件数が減少した。

また、市町村と地域の医療機関が連携して実施する胃内視鏡検診における検査結果の処理事業は、前年に引き続き6市町村から受託し2020年度より微増となった。

このような厳しい事業環境下であっても、受診者目線に立った満足度の高い健（検）診の提供を目指し、集団健（検）診では、循環器健診車の更新を行い、施設健診では、超音波診断装置並びに胸部撮影装置の更新を行ない、システム関係では、CT検診画像サーバー及び心電図サーバーの更新を行った。

経理業務においては、公益財団法人としての信用度を高めることを目的として、引き続き外部機関（公認会計士）の検査を定期的に取り入れ、正確性を確保した。

職員の勤怠管理にシステムを導入し、常勤職員等は紙帳票での勤怠管理を、システムでの勤怠管理に移行した。

新型コロナワクチンの基本型接種施設として、2021年3月末の医療従事者向け先行接種を皮切りに、3回目の接種を含めて22,000回を超える接種を積極的に実施し、感染拡大の防止に努めた。

I 普及啓発事業

1 イベント・行事

(1) 全国大会への参加

ア 公益財団法人日本対がん協会（以下「日本対がん協会」という。）主催のがん征圧全国大会にオンラインで参加した。

開催日 2021年9月8日（金）

開催場所 宮崎県

大会テーマ 「日本のひなた宮崎から「ひなたのチカラ」でがん征圧」

イ 公益財団法人結核予防会（以下「結核予防会」という。）主催の全国大会にオンラインで参加した。

開催日 2022年3月8日（火）

開催場所 東京都

大会テーマ 「結核対策の今 ～感染症の新たな局面を迎えて～」

(2) リレー・フォー・ライフジャパン信州長野への協力

長野市で開催予定であった「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2021信州長野」に、日本対がん協会長野県支部として支援を予定したが、中止となった。

(3) 信州がんプロジェクトへの協力

abn長野朝日放送と協賛各社が取り組む「信州がんプロジェクト」の番組制作に協力した。

2 広報紙・ポスター等の配布

(1) 日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

がん征圧月間ポスター 1,780枚

禁煙ポスター 260枚

対がん協会報 840部

(2) 公益財団法人結核予防会（以下「結核予防会」という。）が作成した結核予防週間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

結核予防週間ポスター 2,550枚

結核の常識 3,000部

複十字 420冊

(3) 全国結核予防婦人会が作成した冊子を健（検）診実施主体や関係機関等に配布した。

健康の輪 1,140冊

3 マス・メディアの活用・協力

(1) 啓発広告の掲載

新聞各紙に啓発広告を掲載し、がん予防や結核予防に関して意識の高揚を図った。

がん征圧月間に関する掲載

9月1日（水）信濃毎日新聞

(2) 有線放送

長野市南部を放送エリアとする更北有線放送の「みんなで進める健康づくり」の企画に「健診から始める健康づくり」をテーマとして、年間12回の放送に協力した。

4 関連団体との連携

日本対がん協会及び結核予防会

長野県支部として健（検）診事業及び普及啓発活動等を行うにあたり会議等を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、一部のオンライン形式での参加を除き、対面開催は全て中止となった。

結核予防婦人会長野県連合会

結核予防推進のため、事務局として会の育成に努めるとともに活動を支援した。
また、複十字シール運動への協力など、結核の知識普及啓発及び最新情報等の収集を行った。

5 表彰

結核予防・生活習慣病予防功労者表彰

永年に亘り結核予防・生活習慣病予防に貢献された功労者に対し、理事長表彰を行った。

受賞者 松田 至晃 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診のフィルム読影において、平成4年4月から令和3年6月までの29年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、平成元年6月からは委員長として、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会を開催する等読影技術の向上に務め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 田中 昌彦 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診のフィルム読影において、平成10年4月から令和3年

6月までの23年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、平成22年4月からは副委員長として、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会を開催する等、読影技術の向上に務め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 武川 健二 氏（諏訪市）

推薦者 一般社団法人諏訪市医師会

受賞理由 平成11年4月に諏訪市医師会胃集団検読影専門委員会委員に就任し読影を開始した。読影研修会にも積極的に参加をして研鑽に努めると共に永きにわたり地域住民の生活習慣病予防に取り組んできた。令和元年4月からは諏訪市医師会胃集団検読影専門委員会副委員長として、更に重責を担い、市民の健康管理に一層尽力している。また、総合病院の副院長として、病院と診療所間の連携（病診連携）に努め、顔の見える関係の構築にも寄与している。平成31年4月には健診部長として、諏訪市内に留まらず諏訪圏域にわたり、早期発見・早期治療の観点から、広く健康管理に尽力している。

受賞者 菊池 宙恵 氏（大町市）

推薦者 大町市

受賞理由 平成10年菊池クリニックを開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的に尽力している。特に特定健診・がん検診をはじめとする市の保健予防事業の効果的な推進のため、多大な協力をしている。また、市が行っている胃検診では、永年にわたり読影医として胃がん等の早期発見に貢献している。現在も市の健診等の委託を受け、市民の健康を守るため、健診業務をはじめ保健予防事業等に積極的に取り組んでいる。

6 募金活動

（1）事業団会員

会員は、日本対がん協会の維持会員を兼ね、がん征圧運動の推進にあたっては、会員に対がん協会報及びパンフレット等の送付を行い、がん予防の知識普及を図った。

個人会員 204人 （年会費 1,500円以上）

団体会員 20団体 （年会費 5,000円以上）

名誉会員 9人 （事業団の活動に功績のあった者、又は10万円以上の寄附を行った者）

(2) 複十字シール募金事業

結核や肺がんその他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための事業資金の確保と、これらの病気に対する知識の啓発と予防知識の高揚を図るため、結核予防会が実施する複十字シール募金活動に協力した。

募金額 3,871,384円

7 協議会・委員会等への参加

地域、事業所等の協議会・委員会の保健分野において、健康に関する専門・支援機関として委員を派遣した。

長野県がん対策推進協議会

長野県がん検診検討協議会

長野県健康づくり推進県民会議

長野市食育推進審議会

佐久地区地域職域保健連携推進協議会

長野圏域地域保健・職域保健連絡会議

上伊那郡市保健師連絡協議会

II 健診等事業

1 集団健診事業

(1) 結核検診

市町村、事業所及び施設の委託等を受け、胸部エックス線デジタル撮影による検診を検診車11台（内1台は繁忙期のみレンタル）で実施し、受診者数は、前年度比較で1,782人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	学生	施設	2021年度	2020年度	前年度比較
デジタル撮影	35,465	48,649	20,780	13,620	118,514	120,296	98.52%
検診日数	202	669	254	253	1,378	1,058	130.25%

(実施市町村数 30)

(2) 肺がん検診

市町村及び事業所の委託等を受け、胸部エックス線デジタル撮影（結核検診に使用する検診車11台共用）にハイリスク者の喀痰細胞診を併用する方式による肺がん検診と、肺がんCT検診をらせんCT検診車1台で実施した。

2021年度のエックス線検査による受診者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、1市1町が完全に中止となった2020年度と比較して、12,585人増加した。肺がんCT検診は2020年度と比較して1,474人増加した。喀痰検査を含めた肺がん検

診合計は、前年度比較で13,918人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021 年度	2020 年度	前年度 比較
X線検査 デジタル	48,784	22,395	71,179	58,594	121.48%
	検診日数	320	480	800	149.53%
	要精検数	965	1,127	1,009	111.69%
	要精検率	1.98%	0.72%	1.58%	△0.14%
喀痰検査	635	206	841	982	85.64%
	要精検数	1	0	1	—
	要精検率	0.16%	0.00%	0.11%	0.12%
C T 検査	13,680	0	13,680	12,206	112.08%
	検診日数	167	0	167	107.74%
	要精検数	326	0	326	118.55%
	要精検率	2.38%	0.00%	2.38%	0.13%
受診者合計	63,099	22,601	85,700	71,782	119.39%
検診日数	487	480	967	690	140.14%

(実施市町村数 X線検査 37、C T 検査24)

要精検数は、国の指針によりD判定（肺がんを除く疾患疑い）を除き、E判定（肺がんの疑い）のみ記載。

(3) 循環器健診（特定健診）・一般健康診断

市町村国保の委託を受けた特定健診、事業所等の委託を受けた一般健康診断及び特殊健康診断を循環器健診車8台と一部ワゴン車による機器の持込で実施した。

特定健診及び一般健康診断の受診者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、中止・延期があったが、特定健診では前年度集団健診を全面中止した1市の再開と個別医療機関での受診率伸び悩みから2市の集団健診新規依頼があり、前年度比較で4,601人増加し、一般健康診断では感染警戒レベルの高止まりによる中止があったものの、109人の減少に収まった。

(人)

区 分		特定健診			一般健康診断		
		2021年度	2020年度	前年度比較	2021年度	2020年度	前年度比較
受診者数		23,361	18,760	124.53%	73,807	73,916	99.85%
	身長・体重	23,361	18,760	124.53%	70,090	68,649	102.10%
	腹 囲	19,258	15,423	124.87%	64,688	64,658	100.05%
	血 圧	23,361	18,760	124.53%	67,765	67,339	100.63%
	血 液	23,358	18,760	124.51%	62,904	63,972	98.33%
	尿検査	23,298	18,712	124.51%	64,609	63,321	102.03%
	心電図	19,059	14,409	132.27%	57,971	57,902	100.12%
	眼 底	8,378	6,499	128.91%	18,096	20,226	89.47%
	診 察	23,107	18,523	124.75%	67,477	65,922	102.36%
	視 力	—	—	—	66,930	66,989	99.91%
	聴 力	—	—	—	52,193	52,502	99.41%
	肝炎ウイルス	3,190	2,816	113.28%	4,099	5,005	81.90%

(実施市町村数 20)

市町村の協力のもと、市町村国保特定健診の会場で社会保険等加入者869人の特定健診を実施した。

一部事業所では一般健康診断に併せて、有機溶剤、特定化学物質等の業務に従事する労働者に対する特殊健康診断をのべ13,455人実施した。

(4) 循環器健診（心電図検診）

市町村教育委員会の委託により学童、生徒の心電図検診を循環器検診車又は心電計を持ち込み校舎内で検査を行う方法で実施した。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症による影響により延期があったが、ほぼ学校安全衛生法で定められている6月末で終了することができた。

受診者数は、児童・生徒の減少により、前年度比較で520人減少した。

(人)

区 分	小学校	中学校	高校等	教職員	2021年度	2020年度	前年度比較
心電図	14,763	7,761	8,483	764	31,771	32,291	98.39%

(実施学校数：小学校166、中学校78、高校等48、小中一貫校4、中高一貫校5
支援学校1、計302校 高校等には養護6・盲1・ろう1の各学校を含む。)

(5) 胃がん検診

市町村及び事業所の委託を受け、検診車8台（全車デジタル装置搭載）でX線検査（バリウム検査）を実施した。

2021年度の受診者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、3市1事業

所で検診が中止となった2020年度と比較して9,262人の増加となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021 年度	2020 年度	前年度比較
受診者数	25,160	14,615	39,775	30,966	128.45%
	検診日数	652	870	1,096	138.87%
	要精検数	2,090	899	2,343	127.57%
	要精検率	8.31%	6.15%	7.51%	7.57%
△0.06%					
※ ¹ 基幹システム外	629	707	1,336	883	151.30%
胃検診受診者数	25,789	15,322	41,111	31,849	129.08%

(実施市町村数 59)

※¹ 基幹システム外はX線撮影のみで、読影及び結果処理は行わない。

(6) 大腸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、免疫学的便潜血検査2日法を実施した。なお、事業所において希望があった場合は1日法で実施した。

また、一部市町村が医療機関で実施する検診の検査及び結果処理を実施した。

受診者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による胃検診の中止・延期などの影響を受けた2020年度と比較すると2日法が8,401人増加した。1日法はほとんどの事業所が2日法に移行したため805人減少した。2022年度は全て推奨の2日法での実施となり1日法での実施がなくなる。

受診者数増を目的として、他の健診(検)時や別日を設けた回収なども継続して実施している。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021年度	2020年度	前年度比較
2日法受診者数	63,227	25,182	88,409	80,008	110.5%
要精検数	3,909	1,195	5,104	4,780	106.78%
要精検率	6.18%	4.75%	5.77%	5.97%	△0.20%
1日法受診者数		51	51	856	5.96%
要精検数	0	2	2	20	10.00%
要精検率	0.00%	3.92%	3.92%	2.34%	1.58%
受診者合計	63,227	25,233	88,460	80,864	109.39%
要精検数	3,909	1,197	5,106	4,800	106.38%

	要精検率	6.18%	4.74%	5.77%	5.94%	△0.17%
--	------	-------	-------	-------	-------	--------

(実施市町村数 41)

(7) 乳がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、視触診・超音波検査を検診車2台（うち1台は超音波装置2台搭載）で実施した。国の乳がん検診の指針で視触診は推奨しない検診になっているが、一部の市町村と事業所では視触診を実施した。今後も継続して県医師会乳がん検診小委員会の指導のもと、地元医師会の協力を得て、超音波検査を全員に実施する超音波単独検査への移行を進める。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた2020年度、他のがん検診が20～30%程度減少する中、主力の超音波単独検診、マンモグラフィ検診は5%前後の減少にとどまり、2020年度との比較では、1～4%増と例年並みの実績となった。

視触診・超音波検査の受診者数は、視触診・超音波検査は530人増加、超音波単独検査も209人増加した。

マンモグラフィ検査は、市町村、事業所の委託を受けて、MLO（内外斜位方向）とCC（頭尾方向）の2方向撮影を検診車3台（全車デジタル装置搭載）で実施した。受診者数では、前年度比較で957人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021年度	2020年度	前年度比較
視触診検診受診者数	876	517	1,393	863	161.41%
超音波併用件数	876	494	1,370	810	169.14%
検診日数	32	28	60	32	187.50%
要精検数	10	5	15	20	75.00%
要精検率	1.14%	0.97%	1.08%	2.32%	△1.24%
超音波単独検診受診者数	14,575	2,848	17,423	17,214	101.21%
検診日数	398	98	496	502	98.80%
要精検数	243	80	323	293	110.24%
要精検率	1.67%	2.81%	1.85%	1.70%	0.15%
マンモグラフィ検診	20,217	937	21,154	20,197	104.74%
検診日数	539	93	632	545	115.96%
要精検数	1,449	66	1,515	1,355	111.81%
要精検率	7.17%	7.04%	7.16%	6.71%	0.45%
受診者合計	35,668	4,302	39,970	38,274	104.44%
検診日数	969	219	1188	1,079	109.18%

要精検数	1,702	151	1,844	1,668	111.09%
要精検率	4.77%	3.50%	4.61%	4.36%	0.25%

(実施市町村数 視触診・超音波検診 46、マンモグラフィ検診 55)

※マンモグラフィ検査の事業所の検診日数では、センター実施分を除き集計している。

(8) 子宮頸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、頸部細胞診を検診車2台で実施した。

受診者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業所の中止はあったが、2020年度比較で1,131人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021年度	2020年度	前年度比較
受診者数	11,234	3,213	14,447	13,316	108.49%
検診日数	229	67	296	277	106.86%
要精検数	135	56	191	182	104.95%
要精検率	1.20%	1.74%	1.32%	1.37%	△0.05%

(実施市町村数 51)

このほか、従来実施していた長野市の委託を受けた施設検診（市内の産婦人科医療機関から細胞検体を収集し検査を行うもの）は、検査室の閉鎖により外注となった。

(9) 前立腺がん検診

市町村の特定健診や事業所の定期健診で、問診と血液検査（P S A法）により、原則として50歳以上の男性を対象に実施した。

また、実施主体から要望のあった場合は単独検診として実施した。

受診者数は、前年度比較で436人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021年度	2020年度	前年度比較
受診者数	8,615	3,454	12,069	11,633	103.75%
要精検数	578	160	738	716	103.07%
要精検率	6.71%	4.63%	6.11%	6.15%	△0.04%

(実施市町村数 19)

(10) 骨健診

市町村、事業所の委託を受けて、超音波による踵骨の骨密度測定を実施した

受診者数は、2020年度新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止となった2村が実施したことなどから市町村は522人増加となったが、事業所が中止により511人減少したことで前年度比較は9人の微増にとどまった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2021年度	2020年度	前年度比較
受診者数	2,642	2,175	4,817	4,806	100.23%
健診日数	34	106	140	153	91.50%
要精検数	410	152	562	581	96.73%
要精検率	15.52%	6.99%	11.67%	12.09%	△0.42%

(実施市町村数 15)

(11) ストレスチェック事業

労働安全衛生法に基づき、労働者の心理的負荷の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を事業所の委託を受けて実施した。

受託団体数は、前年度比較で8団体増加し、受検者数は308人増加した。

区 分	2021年度	2020年度	前年度比較
受託団体数	74	66	112.12%
受検者(人)	9,449	9,141	103.37%

(12) 2020年度のがん検診事業による発見がんの状況

各種がん検診で発見されたがん症例について、県医師会、手術医療機関などの協力を得て追跡調査を実施し、検診精度の向上に努めた。

(人)

区 分		2020年度発見がん数			2019年度発見がん数		
			受診人員	発見率		受診人員	発見率
肺がん検診 ※1	X線	17	39,255	0.04%	22	52,586	0.04%
	らせんCT	14	16,445	0.09%	17	16,509	0.10%
胃がん検診 ※2		29	17,090	0.17%	65	45,710	0.14%
大腸がん検診		113	80,864	0.14%	158	95,458	0.17%
乳がん検診	視触診＋超音波	0	863	0.00%	2	1,549	0.13%
	超音波単独検診	22	17,214	0.13%	16	18,160	0.09%
	マンモグラフィ	49	20,197	0.24%	54	21,154	0.26%
子宮頸がん検診		0	13,316	0.00%	2	15,548	0.01%
前立腺がん検診		33	11,634	0.28%	52	13,419	0.39%
合 計		277	216,878	0.13%	388	280,072	0.14%

※1 市町村実施の結果通知分のみ

※2 読影実施分のみ

(13) がん検診の精密検査受診勧奨

伊那市の委託を受けて、各種がん検診の精密検査受診勧奨事業を実施した。

厚生労働省が示す精度管理指標の精密検査受診率の許容値〔胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がんの各検診は70%、乳がん検診（マンモグラフィ検査）は80%〕全て上回った。

(人)

区 分		2021度	2020年度
胃 が ん	要 精 検 者 数	148	83
	精検受診者数	117	58
	精 検 受 診 率	79.05%	69.88%
大腸がん	要 精 検 者 数	323	210
	精検受診者数	239	161
	精 検 受 診 率	73.99%	76.67%
前立腺がん	要 精 検 者 数	66	58
	精検受診者数	52	38
	精 検 受 診 率	78.79%	65.52%
乳がん（マンモグラフィ）	要 精 検 者 数	106	99
	精検受診者数	102	98
	精 検 受 診 率	96.23%	98.99%
乳がん（超音波）	要 精 検 者 数	29	23
	精検受診者数	22	18
	精 検 受 診 率	75.86%	78.26%
子宮頸がん	要 精 検 者 数	35	40
	精検受診者数	28	33
	精 検 受 診 率	80.00%	82.50%

(巡回検診分のみ記載 2022年4月現在の中間報告)

(14) 精度管理の取り組み

ア 各種委員会活動

検診・健康診断事業の実施にあたっては、次の専門委員会等において医学的事項等に関する検討、指導を受け、検診精度の向上と事業の円滑な推進に努めた。

長野県主催

- ・長野県がん対策推進協議会
- ・長野県がん検診検討協議会

長野県医師会主催

- ・がん検診検討委員会
- ・消化器検診小委員会
- ・郡市医師会消化器検診委員長会議
- ・乳がん検診小委員会
- ・郡市医師会乳がん検診委員長会議
- ・肺がん検診小委員会
- ・郡市医師会肺がん検診担当理事会議
- ・心臓検診検討委員会

長野県健康づくり事業団主催

- ・健康診査検討委員会
- ・肺がんCT検診読影運営委員会
- ・大腸集団検診委員会
- ・子宮頸がん集団検診委員会
- ・骨健診検討委員会
- ・マンモグラフィ検診研究委員会
- ・前立腺がん検診検討委員会
- ・健康センター専門委員会

イ 外部精度管理調査

信頼される健診機関であるために、次の外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持に努めた。

全国労働衛生団体連合会（総合精度管理調査）

長野県医師会（臨床検査精度管理調査）

結核予防会（胸部画像精度管理研究会）

公衆衛生協会（精度管理）

日本消化器がん検診学会（認定指導施設）

日本臨床細胞学会（認定）

日本乳がん検診精度管理中央機構（マンモグラフィ検診施設画像認定）

2 データ処理等事業

（１）特定健診（個別医療機関健診分）結果処理等

市町村国保が作成する特定健診受診券の発行を代行する業務や郡市医師会が実施している結果処理、健診費用の決済申請等の業務を市町村国保と郡市医師会から受託して実施した。

2021年度の処理件数は4月末到着時の件数であり、市町村国保と郡市医師会からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。処理件数は、コロナ禍による医療機関での受診控えの影響や、集団健診の実施を追加した市があったことから4月末現在、前年度比較で3,735件減少している。

（件）

区 分	市町村国保	郡市医師会	2021年度	2020年度	前年度比較
受 託 数	38	17	55	55	100.00%

処理件数	74,293	6,784	81,077	84,812	95.60%
------	--------	-------	--------	--------	--------

(2) 医療機関等実施検診結果処理

医療機関等の施設において実施した乳がん・子宮がん検診及びドック健診のデータ処理、結果通知書の作成・集計等の業務を市町村及び事業所から受託し実施した。

2021年度のドック健診の結果処理は、特定健診（個別医療機関健診分）結果処理等と同様に、4月末到着時の件数であり、委託元からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。処理件数は、2020年度から引続き新型コロナウイルス感染症による医療機関でのドック受診控えの影響があったものの、新規に1市からの子宮頸がん検診結果処理受託等により全体としては4月末現在、前年度比較で1,166件増加している。

(件)

区 分		市町村数	2021年度	2020年度	前年度比較
乳がん検診	視触診・超音波	5	8,012	7,642	104.84%
	マンモグラフィ	13	5,148	4,729	108.86%
	小 計	18	13,160	12,371	106.38%
子宮頸がん検診		21	27,696	25,953	106.72%
ドック健診	ドック処理	—	11,879	13,514	87.90%
	データ作成	—	4,019	3,878	103.64%
	小 計	—	15,898	17,392	91.41%
胃内視鏡検診		6	1,854	1,726	107.42%
合 計		45	58,608	57,442	102.03%

3 健康センターにおける施設健診

長野健康センターと伊那健康センターで日帰り人間ドック（以下「ドック」という。）等の施設健診を実施した。

両健康センターの各種健診における受診者の合計数は、新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセル及び日程変更等の対応に苦慮したが、最終的には前年度と比較して511名増加した。下表における受診コース別では、「日帰り人間ドック」で微減となったがその他の受診コース増加となった。

また、職員の効率的な活用として巡回健診を実施するとともに、巡回健診で受診できなかった未受診者の健診を両健康センターで行った。

(人)

区 分	長野	伊那	2021年度	2020年度	前年度比較
生活習慣病予防健診	1,600	866	2,466	2,392	103.09%
日帰り人間ドック	2,095	1,434	3,529	3,592	98.25%
女性ドック（月2～3回）	150	21	171	167	102.40%
特定健診	12	1,956	1,968	1,705	115.43%
全国健康保険協会生活習慣病健診	3,573	2,037	5,610	5,470	102.56%
定期健康診断	3,580	1,117	4,697	4,604	102.02%
健診合計	11,010	7,431	18,441	17,930	102.85%
その他	317	33	350	297	117.85%
胸部CT（単項目）	0	1,137	1,137	1,075	105.77%
マンモグラフィ（単項目）	0	859	859	849	101.18%
乳腺超音波（単項目）	0	99	99	111	89.19%

Ⅲ 健康増進事業

1 特定保健指導事業

（１）医療保険者からの委託により、支援対象者に対して特定保健指導を実施するため、保健師、管理栄養士が生活習慣全般の具体的な改善計画を立案し、生活習慣病の重症化予防のための支援をした。

（２）長野・伊那健康センターで生活習慣病予防健診等を受診した特定保健指導対象者に対する保健指導を実施した。

特定保健指導の実施人数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により健康診査時期の延期・中止の影響をうけた特定保健指導もあったが、遠隔面談の導入や個別面談中心に実施したことで実施数を2019年度実績に戻すことができた。

（３）実施数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で健診が中止になった昨年度と比較して225人増加した。

(人)

区 分	2021年度	2020年度	前年度比較
動機づけ支援	465	391	118.93%
健康センター健診当日	79	77	102.60%
積極的支援	773	622	124.28%
健康センター健診当日	48	46	104.35%

	初回のみの契約	332	228	145.61%
	合 計	1,238	1,013	122.21%
	受託団体数	17	14	121.43%

2 健康増進事業

(1) 健診終了後の栄養・運動・保健指導事業

市町村、事業所の委託を受けて健診の事後指導等を実施し、食生活、運動及び生活習慣の改善についてアドバイスを行い、健康の維持増進を図るよう支援した。

市町村・事業所実施回数 103回

(2) 健康づくり教室、セミナー等への講師派遣事業

市町村、事業所等の各種健康増進事業に保健師、管理栄養士、健康運動指導士を派遣し、地域や職域の健康づくりを支援した。

集団に対して実施する健康づくり教室・セミナーの依頼件数は、前年度に比べ増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により警戒レベルが上がることで中止・延期となり講師派遣回数は減少した。

派遣回数	計110回	・保健師	17回
		・管理栄養士	26回
		・健康運動指導士	67回

3 協力事業

松本大学人間健康学部に協力し、専門知識の情報交流を行い、栄養に関する指導現場の現状を伝える授業を受け持った。

IV 役員会

事業の実施状況等について報告するとともに、事業計画・予算、諸規程、運営上の諸案件等について審議するため、次の会議を開催した。

(1) 第1回理事会 2021年6月2日（水） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面による表決を求めた。

6月10日（木）、全理事・監事の賛成により決議した。

会議事項 2020年度事業報告

2020年度会計決算報告

評議員会の招集について

(2) 第2回理事会 2022年3月9日（水） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面による表決を求めた。

- 3月18日（金）、全理事・監事の賛成により決議した。
- 会議事項 2022年度事業計画
2022年度損益予算
2022年度資金調達、固定資産取得予算及び資産取得金積立予算、
役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正
- (3) 評議員会 2021年6月24日（木） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
の観点から、書面による表決を求めた。
6月30日（水）、全評議員の賛成により決議した。
- 会議事項 2020年度会計決算報告
監査報告
任期満了に伴う理事及び監事の選任
任期満了に伴う評議員の選任
- (4) 監事監査 2021年6月1日（火） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止
の観点から、個別に訪問・説明し監査を実施した。
2020年度事業及び決算監査

V その他

1 県有施設の管理受託

長野県から公衆衛生専門学校（伊那市）の管理事業を6,398千円で受託した。

2 経営の取り組み

短期事業計画として3年間の詳細な実行計画を各所で定め実行管理し、健診の実施効率を高め、収支の改善を進めた。

また、新型コロナワクチンの接種を積極的に協力することにより、収益を上げた。

3 リスクマネジメント活動

各所属でリスクマネージャーを選任し、かいぜんレポート・事故報告の収集と分析、業務の改善による事故等の予防のほか、安全かつ適切な健診の提供に努力した。

また、リスクマネジメント部会、事故予防対策委員会で、健診事業や事務事業の事故予防対策、改善内容の評価検討等情報の共有化に努めた。

個人情報保護管理については、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に基づき、個人情報の適切な取扱い、保護・管理に努めるとともに、管理職、監査員、新規採用職員、パート職員等の対象職種別教育研修の実施、監査員による課・所ごとの内部監査の実施等を通じて、対応レベルの向上を図り、自覚と責任に基づき、受託先や受診者

等からの信頼度の向上に努めた。

4 公益法人としての対応

主たる公益目的事業では県民の健康づくりに寄与するために精度の高い検診と、より良いサービスの提供に努めた。

また、普及啓発事業では、日本対がん協会と結核予防会の長野県支部としての役割を認識し、正しい知識の普及や新しい情報の発信等に努めた。

5 職員研修

事業団における職員全体研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止とし、各課での実施とした。